平壤

平　壌

朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
2024

目　次

まえがき…… 6

錦繍山太陽宮殿…… 8

記念碑的建築物…… 12
万寿台大記念碑 …… 14
チョンリマ銅像 …… 17
チュチェ思想塔 …… 19
凱旋門 …… 20
党創立記念塔 …… 23

博物館、事績館、記念館…… 24
朝鮮革命博物館 …… 26
党創立事績館 …… 28
祖国解放戦争勝利記念館 …… 30
朝鮮美術博物館 …… 32
自然博物館 …… 34

教育機関…… 37
金日成総合大学 …… 38

金策工業総合大学 …………………………………… 40
金元均平壌音楽舞踊総合大学 ……………………… 41
金亨稷師範大学 ……………………………………… 42
平壌建築大学 ………………………………………… 43
平壌医科大学 ………………………………………… 44
平壌教員大学 ………………………………………… 46
万景台学生少年宮殿 ………………………………… 48
人民大学習堂 ………………………………………… 52
科学技術殿堂 ………………………………………… 54

保健医療施設………………………………………… 59
平壌産院 ……………………………………………… 61
平壌産院乳腺腫瘍研究所 …………………………… 62
金萬有病院 …………………………………………… 63
高麗医学総合病院 …………………………………… 64
玉流児童病院 ………………………………………… 65
柳京歯科病院 ………………………………………… 68
柳京眼科総合病院 …………………………………… 70

スポーツ施設………………………………………… 73
金日成競技場 ………………………………………… 74
メーデー・スタジアム ……………………………… 76
青春通りスポーツ村 ………………………………… 78
平壌体育館 …………………………………………… 80

劇場、映画館…… 83
三池淵劇場 …… 85
万寿台芸術劇場 …… 86
牡丹峰劇場 …… 88
平壌大劇場 …… 90
東平壌大劇場 …… 92
国立演劇劇場 …… 94
人民劇場 …… 96
平壌サーカス劇場 …… 98
人民文化宮殿 …… 100
4・25文化会館…… 102
大同門映画館 …… 102

文化休息施設…… 105
万景台遊戯場 …… 106
大城山遊戯場 …… 108
凱旋青年公園遊戯場 …… 110
綾羅人民遊園地 …… 112
中央動物園 …… 114
紋繍遊泳場 …… 118
美林乗馬クラブ …… 120
清流人民屋外スケートリンク …… 122

商業サービス施設…… 125
平壌第1百貨店…… 126

光復地区商業センター …………………………………… 127
大聖百貨店 ……………………………………………… 128
平壌児童百貨店 ………………………………………… 129
玉流館 …………………………………………………… 130
清流館 …………………………………………………… 132
食堂船「大同江」号 …………………………………… 133
総合サービス船「ムジゲ」号 ………………………… 134
平壌大同江水産物食堂 ………………………………… 136
平壌高麗ホテル ………………………………………… 139
羊角島国際ホテル ……………………………………… 142
青年ホテル ……………………………………………… 142
西山ホテル ……………………………………………… 143
両江ホテル ……………………………………………… 144

市街 …………………………………………………… 146
未来科学者通り ………………………………………… 148
黎明通り ………………………………………………… 150
松花通り ………………………………………………… 153
普通江川岸段々式住宅区 ……………………………… 154
和盛通り ………………………………………………… 156
林興通り ………………………………………………… 158
前衛通り ………………………………………………… 160

歴史遺跡 ……………………………………………… 163
檀君陵 …………………………………………………… 165

東明王陵 ………………………………………………………166
練光亭 ……………………………………………………………168
大同門 ……………………………………………………………170
普通門 ……………………………………………………………171
広法寺 ……………………………………………………………172
平壌鐘 ……………………………………………………………173

まえがき

平壌は、5000余年の悠久の歴史を誇る都市である。

昔から陸路が発達し、大同江と複数の支流が流れていて、交通運輸と物資運搬に便利な平壌は、古朝鮮(B.C.3000年頃～B.C.108年)と高句麗(B.C.277年～A.D.668年)時代には都邑、その以降は西北部と南部をつなぐ地域的拠点及び政治的・軍事的中心地、各種の物品が取引される交易の中心地となった。

地理的に平壌は、北部と東部は平安南道、南部と西部は黄海北道と隣接しており、面積は2000余平方キロメートルである。

平壌の地形は、大同江とその支流によって形成された沖積平野、大同江に沿う平壌準平原、それに長期にわたる地質時代の浸食作用によって形成された低い山地からなっており、南、東、南西の方向に広がっている広い丘陵性平野と沖積平野は、大同江下流の方へ開かれている南西部を除いてはほとんどが丘陵と小山に囲まれている。

1970年代と1980年代、平壌を人民の首都に作り変えるための大建設が力強く展開された結果、凱旋門、チュチェ思想塔、人民大学習堂、蒼光通り、栄光通り、光復通り、蒼光院、大城山遊戯場、万景台遊戯場など記念碑的建築物と新しい市街、文化・情緒及び厚生施設が建設された。

今日、建築の新たな大繁栄期を迎えた平壌は、一層美し

くかつ文化的な都市として立派な変貌を遂げている。

この10余年間、祖国解放戦争勝利記念館などが記念碑的建築物として立派に改築・整備され、未来科学者通り、黎明通り、松花通り、和盛通り、前衛通りをはじめとする新しい市街がユニークな様相を誇りながら次々と立ち上がって平壌の姿を一新させた。

金日成（キムイルソン）総合大学と平壌教員大学、科学技術殿堂、万景台学生少年宮殿など、各級教育機関と課外教育拠点、科学技術普及拠点が新築、または改築された。

紋繡地区には近代的な医療設備を整えた複数の病院が立ち並んで一つの病院村をなしており、首都の各所には人民に社会主義文明を享受させる多様な文化・情操生活拠点と商業サービス施設が建設され、市民に喜びを与えている。

日増しに変貌を遂げている平壌の建設における特徴は、民族性と現代性、造形性と芸術性、人民性が結合された朝鮮特有の文明が体現されたことである。

平壌は、わが党と国家の人民大衆第一主義の政治理念が具現されている、名実共に人民の首都として、人民の夢と理想が実現し、社会主義的文化が集約された都市として、その様相を絶えず一新している。

錦繍山太陽宮殿

錦繍山太陽宮殿は、偉大な領袖金日成主席と偉大な指導者金正日(キムジョンイル)国防委員長が生前の姿のまま安置されているチュチェの最高聖地である。

金日成主席が1974年から1994年まで朝鮮革命を導いてきた錦繍山議事堂(当時)は、1995年に錦繍山記念宮殿、2012年2月には現在の錦繍山太陽宮殿と命名された。

金日成主席と金正日国防委員長を丁重に安置した領袖永生の大殿堂としての性格が明白に生かされるよう一層立派に整備された錦繍山太陽宮殿は、2012年12月17日、金正日国防委員長の逝去1周年に際してオープンした。

宮殿の内部には、主席と国防委員長が生前の姿で安置されている永生ホールと勲章保存室、事績のこもる乗用車と電動車、船、列車の保存室などがある。

石造大門

数十トンの巨石を加工して建て並べた石垣と石造大門、近代的な外廊も錦繡山太陽宮殿の風格を引き立てている。

錦繡山太陽宮殿には、人民がいつでも訪ねてきて金日成主席と金正日国防委員長に敬意を表し、休息もできるように開放された広場や広々とした芝生、華麗な噴水や憩いの場からなる広場公園がある。

2013年4月、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第12期第7回会議では、錦繡山太陽宮殿を領袖永生の大記念碑として永久保存し、とわに輝かせるために朝鮮民主主義人民共和国錦繡山太陽宮殿法が採択された。

記念碑的建築物

平壌のいたるところに立ち上がった記念碑的建築物には、人民大衆を歴史の主人に押し立てた金日成主席と金正日国防委員長への限りない懐かしさと敬慕の念、社会主義強国建設の新しい歴史を開いた朝鮮労働党に対する信頼、朝鮮人民の栄えある闘争伝統と社会主義建設史がこもっている。

万寿台大記念碑の群像

万寿台大記念碑

万寿台大記念碑は、1972年4月に建立された。

2012年4月、金日成主席の生誕100周年に際して金日成主席と金正日国防委員長の銅像が新たに建立された万寿台大記念碑は、朝鮮人民がいつも真っ先に訪ねるところである。

万寿台大記念碑の中心には金日成主席と金正日国防委員長の銅像があり、左右には『抗日革命闘争塔』と『社会主義革命及び社会主義建設塔』が配されている。

チョンリマ銅像

人民賞受賞作品であるチョンリマ銅像は、1961年に牡丹峰の麓の万寿台に建立された。

高さ14メートルのこの銅像は、朝鮮労働党中央委員会の「赤い手紙」を高く掲げた労働者と稲束を抱えた女性農民が、翼を広げて天翔るチョンリマ(千里馬)に乗って疾風のごとく前進する姿を描き出した青銅彫像と花崗岩造りの彫刻台からなっている。

チョンリマ銅像は、朝鮮人民の英雄的気概を示す記念碑、チョンリマ朝鮮のシンボルとして世界に広く知られている。

チュチェ思想塔

1982年4月に除幕されたチュチェ思想塔は、金日成広場の正面前方、東平壌側の大同江畔にそそり立っている。

塔の高さは170メートル(烽火の高さ20メートルを含む)であり、塔身の前後両面には「チュチェ」という文字が浮き彫りされている。

塔を中心に朝鮮労働党象徴塔と副テーマ群像、それに塔両側にあるあずまや、大同江の中心線上の2つの大型噴水などが35ヘクタールの広い敷地に大叙事詩的画幅をもって展開され、一つの大建築群をなしている。

チュチェ思想塔は、思想的内容の深さと豊かさ、すぐれた造形芸術性によって人々に深い印象を与えている。

塔の下には、チュチェ思想塔の建立を祝って世界各国から贈られた珍しい板石が展示されている。

世界各国から贈られた板石

凱旋門

牡丹峰の麓に建つ凱旋門は、祖国の解放を成し遂げて凱旋した金日成主席の業績を記念して、1982年4月に建立された。

高さ60メートルの凱旋門は、精巧に加工された1万余の花崗岩をもって築造されている。

凱旋門の上部には不滅の革命頌歌『金日成将軍の歌』が刻字されており、両側の壁面には主席が革命の途につき祖国解放を遂げて凱旋した年代を表す「1925」「1945」という数字が浮き彫りされ、その下にはそれぞれ6人の人物からなる銅製のレリーフ像が配されている。

党創立記念塔

平壌市大同江区域紋繍通りにある党創立記念塔は、1995年10月10日、朝鮮労働党創立50周年に際して除幕された。

25万余平方メートルの敷地面積に雄壮に建てられた記念塔は、朝鮮労働党の構成部分を象徴して労働者、農民、インテリが握りしめたハンマーと鎌、筆をかたどった高さ50メートルの塔身と、「朝鮮人民の全ての勝利の組織者であり導き手である朝鮮労働党万歳！」というスローガンを浮き彫りした円形帯と基壇、それに朝鮮労働党の栄えある歴史的行程と偉容を生き生きと示す銅製のレリーフ像をもって構成されている。

博物館、事績館、記念館

平壌には、朝鮮革命博物館と祖国解放戦争勝利記念館、朝鮮美術博物館、自然博物館などがある。

平壌の博物館は、建築様相と様式、学術体系と構成の面で独自性を持っており、博物館を訪ねる人々に深い印象を与えている。

祖国解放戦争勝利記念館

朝鮮革命博物館

平壌の全景が一目に見渡される万寿台の丘に位置している朝鮮革命博物館は、1955年8月にオープンし、2017年に改築された。

万寿台大記念碑と朝鮮革命博物館の総敷地面積は20余万平方メートルである。

朝鮮革命博物館は、金日成主席と金正日国防委員長、金正恩（キムジョンウン）総書記の革命活動史と不滅の業績を丁重性と科学性、直観性を保ちながら幅広く、かつ深く示す大国宝館である。

朝鮮革命博物館には、朝鮮革命の各段階の史料が内容別に、直観的に展示されている。また、領袖と戦士の間の血縁的関係と革命的同志愛を見せる「革命戦友館」がある。

党創立事績館

1970年10月に開館した党創立事績館は、平壌市中区域の解放山の南側の麓に位置している。

この建物には、解放直後、朝鮮労働党を創立し、朝鮮革命を勝利へと導いた金日成主席の不滅の事績がこもっている。

2階建ての事績館には、主席が利用した2つの執務室と応接室、会議室が原状通りに保存されており、党創立に関わる事績資料が展示された複数の陳列室がある。

祖国解放戦争勝利記念館

祖国解放戦争勝利記念館は、2013年7月27日、偉大な祖国解放戦争勝利60周年に際して普通江畔に新築された。

金日成主席の不滅の戦勝業績と金正日国防委員長の業績を長く伝えるために新たに建設された祖国解放戦争勝利記念館は、建築美学的及び造形芸術的に雄壮華麗な記念館、金正恩総書記の親筆「偉大な年代に敬意を表する」が表記された祖国解放戦争勝利記念塔の中心テーマ「勝利」像、10の副テーマ群像、功勲兵器展示場、鹵獲兵器展示場を含む屋外兵器展示場、1968年1月に朝鮮人民軍海軍によって拿捕されたアメリカの武装情報収集艦「プエブロ」号などからなっている。

朝鮮美術博物館

朝鮮美術博物館は1948年8月にオープンした。

敷地面積4562平方メートルの4階建ての建物からなっている朝鮮美術博物館には、朝鮮画を主としながら、抗日革命闘争時代に創作された作品、解放後に創作された思想性と芸術性の高い作品、それに悠久の民族美術の伝統を示す数多くの遺物が保存、展示されている。

自然博物館

大城山麓の中央動物園の傍らに位置している自然博物館は、2016年8月に開館した。

延べ床面積3万5000余平方メートルの自然博物館には、勤労者と青少年・学生に宇宙と地球の歴史、生命の起源、動植物に関する総合的な知識を与える幾つもの展示館がある。

それぞれ特色のある展示館では、展示品を観察しながら種々の自然現象や動植物の特徴など多方面的な知識を習得することができる。

自然博物館には、マルチメディア編集物鑑賞ホール、学術セミナールーム、面談室、展示場などがあり、参観者向けの清涼飲料店や記念品売り場もある。

教育機関

平壌には、金日成総合大学、金策工業総合大学をはじめとする各級大学と科学技術殿堂などの科学技術普及拠点がある。

特に科学技術普及拠点は、勤労者に各分野の深い知識を与えることによって、全人民科学技術人材化の実現に大いに寄与している。

金日成総合大学の全景

金日成総合大学

1946年10月に創立された金日成総合大学は、平壌市大城区域に位置している。

朝鮮におけるチュチェの科学教育の最高学府である大学は、解放(1945年8月15日)直後、困難な中でも総合大学を先に創立し、それを母体にして数多くの大学を創立するよう導いた金日成主席の業績を末長く伝えようとする朝鮮人民の一致した意思により、大学に金日成主席の尊名を冠した。

大学には、20余の学部と90余の専攻学科、博士院、社会科学研究院、自然科学研究院、先端技術開発院、金日成総合大学基金などがある。

また、最新設備の電子図書館と科学図書館、自然博物館、体育館、水泳館などがある。

金日成総合大学は、教育活動と科学研究活動において大きな成果を成し遂げ、国の教育発展に大いに寄与している。

大学は、創立以来100余名の英雄及び数千名にのぼる学位・学職の所有者を輩出している。

大学は世界の多くの大学と協力関係を結び、交流を発展させている。

先端技術開発院

自然博物館

科学図書館

金策工業総合大学

平壌市中区域に位置している金策工業総合大学は、1948年9月に創立された。

大学の名は、金日成主席に忠実な戦士であり、有能な政治活動家であった金策の名前を付けて現在の名称となった。

大学には、金属工学部、材料工学部、熱工学部、工業経済管理学部など多くの学部と、多数の科学部門別研究所がある。また、電子図書館と各種の実験設備を整えた

実験室と出版社、印刷工場がある。

金策工業総合大学は、世界の多くの大学と友好関係を結び、教育科学の交流を進めている。

金元均平壌音楽舞踊総合大学

大同江畔に位置している金元均平壌音楽舞踊総合大学は、1949年3月1日に創立された。

初期の名は平壌音楽舞踊大学であったが、不滅の革命頌歌『金日成将軍の歌』を作曲した金元均の名前を付けて現在の名称となった。

大学には、平壌第1音楽学院と第2音楽学院並びに民族器楽、洋楽器楽、声楽、楽器製作、作曲などの専門教育を行う学部や講座があり、研究所、博士院、教材創作室、管弦楽団など、整然とした教育システムが整っている。

大学には、近代的な教育施設を備えた校舎、音楽堂、個別授業室、録音室、音楽鑑賞室、ビデオ鑑賞室、音楽図書館など、芸術教育に必要な全ての条件が整っている。

金亨稷師範大学

平壌市東大院区域に位置している金亨稷師範大学は、1946年10月に創立された。

朝鮮反日民族解放運動の卓抜した指導者であり、民族主義運動から無産革命への方向転換の先駆者である金亨稷先生の不滅の業績を末長く伝えるために、1975年3月23日、大学に金亨稷先生の尊名を冠した。

大学には、歴史学部、哲学部、語文学部、化学部など10余の学部がある。

また、100余の研究室、実験室、実技練習室、電子図書館、体育館、文化会館、出版社などがある。

平壌建築大学

平壌市大同江区域に位置している平壌建築大学は、建設部門の技術者を養成する大学である。

大学は、朝鮮戦争によって無残に破壊された人民経済を一日も早く復旧し、近代的な都市と村を建設する課題が切実に提起されていた戦後時期である1953年10月に創立された。

大学には、建築第1学部、建築第2学部、建設工学部、建築材料工学部、建設経済学部、園林学部、建設機械工学部、国土環境科学部など10余の学部と数十個の学科がある。また、科学研究所と博士院を設けている。

これまで大学は、建設部門で提起される多くの科学的・理論的問題を解決しており、平壌市など全国の建設において一役買う数多くの設計家や専門家を養成している。

平壌医科大学

平壌市中区域に位置している平壌医科大学は、1948年9月に創立された。

平壌医科大学には、医学部、基礎医学部、衛生学部、薬学部など多くの学部と、数十の講座、複数の研究所、博士院、電子図書館などがある。

大学には、循環器内科、腎臓内科、脳神経外科など数十の細部専門科及びCT検査科、同位元素科、免疫実験検査科、回復治療科など20余の補助診断治療科、調剤及び製剤科、薬局を有している大学付属病院がある。

また、近代的な実習工場と抗生物質製剤中間工場を

持ってあり、図書館と閲覧室、1000余席の会館、出版所がある。

延べ床面積2万4100余平方メートルの平壌教員大学は、小学校授業法実技室、自然実験授業法室、児童知能啓発技術普及室をはじめとする全ての教室が、専攻実践実技教育のできる多機能教室と先端教育設備、近代的な教具・校具、管理・運営設備を整えた教育原種場として立派に建てられた。

平壌教員大学

1968年9月に創立された平壌教員大学は、平壌市万景台区域に位置している。

大学は、幼稚園と小学校の子どもを教育する幼稚園の教養員と小学校の教員の水準を現代教育の発展趨勢に即して向上させるために、2017年、教育の科学化、情報化、現代化が高いレベルで実現した大学に新しく改築された。

万景台学生少年宫殿

万景台学生少年宮殿は、児童・生徒のための課外教育の場である。

1989年に建てられ、2015年に改築された万景台学生少年宮殿は、平壌市万景台区域に位置している。

万景台学生少年宮殿は、コンピュータサークル室と物理サークル室などがある科学棟と、刺繍サークル室、書道サークル室、伽倻琴サークル室、アコーディオンサークル室、声楽サークル室、民族器楽総合練習場などを持つ芸能棟、劇場、体育館、水泳館、寮など教育と生活に必要な一切の条件と環境が高いレベルで整っている。

宮殿の改築の際、外壁を天然花崗岩張りして学生少年宮殿の風格と雄壮感を一段と高めた。

宮殿の科学ホールには、地球を蹴って飛び立つ人工衛星運搬ロケットの模型を設け、天井は夜空に流れる天の川の模様で装飾されている。

芸能ホールも児童・生徒の心理に合わせ、さらにはサークル員たちが休息もし、技量の発表会もできるよう立派に作り直されている。

図書館と天文知識普及室、贈呈動物標本館をはじめ多様な大衆活動の場もそれぞれ立派に作り直されており、野外には自動車の運転実習場が新たに設けられた。

人民大学習堂には、解放後わが国で発行された出版物と朝鮮の印刷文化の誇らしい歴史を示す昔の活字本と木版本、手写本が備え付けられており、数多くの外国科学技術書と定期出版物、特殊技術文献が保存されている。

人民大学習堂は、わが国で社会教育の中心拠点となっている。

人民大学習堂では、新しい科学技術上の問題を取り扱う講義が行われ、科学理論講演、科学技術講習、要請講義、集中講義、外国語講習が定期的に行われている。

予定の講義プロをラジオやテレビを通じて全国の勤労者に知らせ、人民大学習堂を利用する読者の便益をはかっている。

講義には、学位・学職を持った権威ある科学者や専門家が出演する。

人民大学習堂

1982年4月に創立された人民大学習堂は、平壌市中心部の南山丘に位置している。

10階建ての朝鮮風の建物である人民大学習堂は、総10棟が一体となって構成されており、大小の部屋数は600余室である。

数千万巻の蔵書能力を有する書庫を中心に数千席の座席を持つ数十の閲覧室、10余の講義室、複数の通報室と問答室、音楽鑑賞室が配されており、講義室と通報室には近代的な教育設備が備わっている。

科学技術殿堂

2016年1月1日、大同江のスク島に建設された全人民学習の大殿堂である科学技術殿堂がオープンした。

科学の世界を象徴する巨大な原子構造の模様をかたどって建てられた科学技術殿堂の延べ床面積は10余万平方メートルである。

地熱による冷暖房システム、太陽光を最大限効果的に利用できる自然採光と室内照明システムなどを十分に備えている。

殿堂には従前に出版された科学技術書はもとより、国内で成し遂げられた最新科学技術成果の資料及び世界の国々の先進科学技術資料が電子図書化されている。

この殿堂は、10の屋内科学技術展示場と野外科学技術展示場を備えて多機能化された先進科学技術の普及センター、社会教育の拠点である。

殿堂の中心ホールには、地球を蹴って飛び立つ人工衛星運搬ロケットの模型が設置されている。

この中心ホールを軸にして円形に形成された各階には、誰もが科学技術の原理と方法を十分に体得できる数多くの電子閲覧室と、子どもの夢館、科学技術発展史館、先端科学技術館、基礎科学館、応用科学技術館などがある。

部門別屋内科学技術展示場があり、ここには利用者がじかに扱い、実感し、動かしうる操作型、感知型、稼動型の展示品が備わっている。

また、障害者閲覧室、動画閲覧室、新書閲覧ホール、遠隔講義室、科学映画館、学術問答室などがある。

科学技術展示場区域には、人類が遂げた科学技術分野の成果、自然と諸事物の道理、当該部門の科学技術を原理的に習得しうる部門別の科学技術館もある。

また野外には、未来のエネルギー区域、科学遊戯区域などを持つ野外科学技術展示場と野外学習の場がある。

科学技術殿堂の利用者のための500人収容能力を持つ宿所もあるが、これも周辺の環境にふさわしく建設されている。

科学技術殿堂は、コンピュータネットワークを通じて全国の全ての部門や機関はもとより、家庭にもリアルタイムでサービスを提供している。

保健医療施設

平壌には、各級保健医療施設が均等に配置されている。

住民が便利な医療サービスを受けられるように、区域（郡）、洞（里）ごとに病院と診療所がある。また、中央級及び市級病院と専門病院が、該当病院の使命に合わせて交通と環境条件を考慮に入れて配置されている。

紋繍地区の病院

平壌産院の全景とホール

平壌産院

1980年7月に開院した平壌産院の延べ床面積は6万余平方メートルである。

平壌産院には、医療サービスの科学性と治療の迅速・正確さを高度に保障できる最新の医療設備及び器具が備えられている。また、助産と治療を総合的に監視する装置、統一的な消毒システム、衛生通過システム、中央酸素供給システム、コールベルシステム、温・湿度調節及びエアコンシステムなどが整っている。

ほかにも救急治療用の設備とベッド、無線通信を備えた数十台の救急車が常時待機している。

平壌産院乳腺腫瘍研究所

2012年11月に設立された平壌産院乳腺腫瘍研究所は、乳腺疾病の予防と治療、研究を専門とする近代的かつ総合的な医療サービス及び科学研究拠点である。

研究所には、画像診断科、乳腺1科、乳腺2科、予防検診科、総合手術室、乳腺病研究室、病室などがあり、多目的レントゲン設備、乳腺撮影機、乳管内視鏡、乳腺組織切除機などの先端医療設備が備わっている。

また、全国の全ての女性を対象にして医療サービスを行うことのできる遠隔医療サービスシステムが整っているので、定期的検診、乳腺疾病の早期摘発及び予防・治療処置上の対策を適時に取ることができる。

金萬有病院

平壌の紋繍地区に位置している金萬有病院は、日本の西新井病院院長で医学博士であった金萬有の愛国的発起によって、1986年4月に開院した。

延べ床面積10万平方メートルの病院は、2000余室を有する16階建ての基本建物を母体とする3棟の建物と、同位元素治療室、動物実験室、温室などの補助建物からなっている。

病院には、救急蘇生科、入院治療室、実験室、外来診療室、物理治療室、それに10の手術室と血管造影撮影室などがあり、さまざまな集中治療室が立派に整っている。

高麗医学総合病院

平壌の紋繍地区に位置している高麗医学総合病院は、1956年8月に設立された。

高麗医学総合病院の延べ床面積は1万数千平方メートルで、室数は数百に達する。

ここには、数多くの学位・学職所有者を含む数百名の有能な専門家が研究及び医療・予防活動に従事している。

高麗医学総合病院は、内科病院、外科病院、鍼灸病院、体質研究所、外来総合診療所、数百名の収容能力を持つ病室などからなっている。

高麗医学総合病院は、世界保健機関(WHO)の伝統医学共同研究センターとしての役割も果たしている。

玉流児童病院

2013年10月にオープンした玉流児童病院は、風光明媚な大同江畔の紋繍地区にある子どものための医療サービスの場である。

延べ床面積が数万平方メートルの病院には、最新式の医療設備を十分に備えた治療及び処置室、手術室、病室、それに入院した子どもたちの勉強部屋や遊戯場、休憩室なども備わっている。

プラモデル玩具を積み上げたかのような感じの6階建ての病院の外観は童心に合う建築美を呈しており、建物が大通りをはさんで平壌産院と向かい合って立っていることからして、その姿はあたかも母親の胸に抱かれている幼子のような温かい情感と心の安まるような落ち着きを人々に覚えさせる。

病院の中央ホール前面の壁には、青空の下で思う存分遊びたわむれる子どもたちの姿を見せるアクリル画『この世に羨むものなし』が描かれている。

他の壁にはまた、朝鮮のアニメや世界の名作童話集に見られる1700余の絵が所狭しとばかりに描かれている。

病院内の処々にある遊び場や休息室には、滑り台その他の

遊戯施設や器具が備わっている。

ヘリポートが設けられている病院の全ての施設は、児童専門病院の使命と子どもの童心にふさわしく整えられている。

病院は心臓血管外科、新生児治療科、蘇生及び集中治療科、回復治療科など数十の専門治療科に加えて80の病室を持っており、幼児・児童に対する治療は細分化されている。

柳京歯科病院

平壌の紋繍地区にある柳京歯科病院は、2013年10月13日にオープンした。

歯科疾病の予防と治療のための物質的・技術的条件が保健医学的要求に即して完備された柳京歯科病院は、建築物の造形化、芸術化も高い水準で実現した医療サービス拠点である。

病院には、近代的な歯科総合治療器や薬局、売店、児童遊び場など、医療サービス上欠かせない全ての条件が十分に備わっている。

設備の整った外科と保存治療科、実験検査及び機能診断科、補綴科、矯正歯科もさることながら、子どもの童心に合わせて作られた児童歯科の壁紙や天井の照明灯は、ここを訪れる人々の目を引かずにはおかない。

児童遊び場にはいろいろな遊具が備わっている。病院内には、各種の衛生道具や薬品の売り場もある。

柳京眼科総合病院

2016年10月にオープンした柳京眼科総合病院も平壌の紋繍地区に位置している。

柳京眼科総合病院は4階建ての外来患者用病棟と8階建ての入院病棟、各種のめがねを来客の視力に合わせて製作もして売る商店を備えた眼科の総合病院である。

病院には診断・検査科や視機能矯正科、網膜科、白内障科、小児眼科、緑内障科、外傷整形科など複数の専門科がある。

また、光干渉断層X線撮影器(OCT)とガラス体切除機、エキシマ・レーザー治療器、ガラス網膜体手術器をはじめ数十種、数百点の先端医療設備がある。

この病院は省エネ型建築、グリーン建築で、地熱による冷暖房システムが採用され、太陽電池が備え付けられており、屋上には入院患者のための休息用庭園も設けられている。

スポーツ施設

平壌には数多くのスポーツ施設がある。

競技、訓練、休息、サービス、治療、疲労回復の施設を整えた平壌のスポーツ施設では、国家レベル選手団の競技と訓練のほかにも、各分野に従事している勤労者たちの各級スポーツ競技が季節別にあるいは国家的な記念日に際して行われている。

メーデー・スタジアム

金日成競技場

金日成競技場は、祖国解放偉業を成し遂げた金日成主席が1945年10月14日、歴史的な祖国凱旋演説を行った由緒深い牡丹峰の麓に位置している。

金日成主席の生誕70周年に際して改築・拡張された後、金日成競技場と命名された。

競技場の延べ床面積は14万6000平方メートル、グラウンドの面積は2万余平方メートルで、収容能力は10万名である。

金日成競技場では、多彩な政治イベントをはじめ大小の国際・国内スポーツ競技、青少年・学生によるマスゲームなどが盛大に開催されている。

メーデー・スタジアム

大同江の綾羅島に位置しているメーデー・スタジアムは、1989年5月1日に竣工した。

一輪のモンラン(オオヤマレンゲ)を彷彿させるメーデー・スタジアムは、開放式の外部建築様式で、内部空間と外部が一つに繋っていて広々とした感じがあり、軽快感と立体感を与える。

グラウンドには、国際競技も可能なサッカー場とゴム敷きのトラック、バスケットボールコート、バレーボールコートがある。

競技場の敷地面積は40余万平方メートル、建築面積は16万6000余平方メートル、延べ床面積は20万7000余平方メートル、収容能力は15万名である。

1989年7月、第13回世界青年学生祭典の開・閉幕行事がここで行われた。

2002年、この競技場では金日成主席の生誕90周年及び朝鮮人民革命軍創建70周年に際して、大マスゲーム・芸術公演『アリラン』が盛大に行われた。

青春通りスポーツ村

1988年9月に竣工した青春通りスポーツ村は、敷地面積が百数十万平方メートルで、長さは3キロメートルにのぼる。

アンコル立体橋から七谷立体橋に向かう道路の右側には両江ホテル、西山ホテル、疲労回復館、スポーツマン食堂、西山サッカー競技場、ハンドボール競技館、卓球競技館、軽競技館、重競技館、バドミントン競技館、水泳競技館などが、道路の左側にはウェートリフティング館、メアリ射撃館、バレーボール競技館、バスケットボール競技館、テコンドー聖地館、テコンドー殿堂などが秀麗な風致とよく調和して配されている。

青春通りスポーツ村では20余種目、40余種類のスポーツ競技を同時に行うことができる。

平壌体育館

普通江畔に位置している平壌体育館は、1973年4月8日に竣工した。

敷地面積が35万平方メートルの平壌体育館の建築面積は2万平方メートル、延べ床面積は約7万平方メートルである。

前と後ろの端が高くなっている傾斜屋根の前面高さは約42.5メートル、裏面高さは34.5メートルである。

4階からなる観覧席は2万余席である。

建物内の中心にある4600平方メートルの広いグラウンドでは、各種の競技を行うことができる。

劇場、映画館

平壌には、勤労者たちが文化的生活を享受できる劇場と映画館が市内のいたるところにある。

これらの劇場と映画館は、建築様式が明るくて軽快感を与えながらも、朝鮮人民の時代的感情と建物の使命がよく現れるように建てられている。

三池淵劇場

三池淵劇場

三池淵劇場は風光明媚な普通江のほとりに位置している。

三池淵劇場は、1960年代を代表する建築物として人民に愛されてきた牡丹峰サーカス劇場が、2018年10月、朝鮮労働党創立73周年に際して新世紀の管弦楽生響劇場に立派に改築されたものである。

延建築面積3万6610平方メートルのこの劇場は、拡声装置を全く使わない1200余席の演奏ホール、管弦楽団の創作家・芸能人の創作・創造と公演活動、生活条件が立派に整っている録音室、創作室、レッスン室、扮装室、事務室、生活室などからなっている。

三池淵劇場は、建築様式と内容が高尚で品位があり、現代美と古典美が芸術的によく調和しながらも、科学技術を駆使した音響設計を取り入れた劇場である。

万寿台芸術劇場

1976年に竣工した万寿台芸術劇場は、平壌の中心部にある万寿台に位置している。

延べ床面積6万平方メートルの劇場の内部には、玄関ホール、メイン劇場、小劇場、ステージ、メーキャップ室などがある。

玄関ホールは、大噴水公園から装飾アーチ型通路を通って中庭に入ってから始まる。このホールを中心にして、劇場内部の全ての建築空間が有機的に結びついている。

メイン劇場の座席数は、必要に応じて増減させることもできる。小劇場では、主に音楽・舞踊小品の公演が行われるが、映画も上映できる。

牡丹峰劇場

1946年の春、牡丹峰に建てられた牡丹峰劇場は、意義深い建築物である。

劇場の建設は、わずか40余日間に終わった。正面には労働者と農民、知識人のレリーフ像を建て、周りには休憩の場を配置するなど、素朴でしょうしゃな建物には人民的性格がよく反映されている。

朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第1回会議をはじめ国家的な重要会議が行われたこの劇場では、民族芸術の発展をはかるための多様な芸術活動も行われている。

劇場は、祖国解放戦争時期にアメリカ帝国主義侵略者の爆撃によって破壊されていた。

金日成主席は、戦後首都に初めてうち建てる公共建築の一つとして、牡丹峰劇場を以前より更に大きくて立派に建設するようにした。そうして、1954年に現在の牡丹峰劇場が完工した。

劇場の延べ床面積は7120余平方メートルで、観覧ホールの座席数は700余席である。

マイクなしに公演ができるこの劇場では、朝鮮の貫禄ある国立交響楽団の創作・公演活動が行われている。

平壌大劇場

平壌大劇場は1960年8月にオープンした。

劇場は、勝利通りと軸対称をなしており、正面の両側と左側及び右側の壁にモザイク壁画が描かれている。

劇場の敷地面積は7万5000余平方メートル、延べ床面積は2万9000余平方メートル、収容能力は2200余席である。

劇場には、700余名を収容できる3つの総合練習室と、芸術創作に必要な大小の部屋が360余室もある。

この劇場では、朝鮮労働党第4回大会をはじめとする各種の政治行事が行われ、朝鮮の5大革命歌劇である『血の海』『花を売る乙女』『密林よ語れ』『看護婦の物語』『金剛山の歌』が公演された。

平壌大劇場では、ピバダ歌劇団が創作・公演活動を行っている。

東平壌大劇場

東平壌地区の紋繡通りに位置している東平壌大劇場は、1989年5月に竣工した。

劇場の敷地面積は6万2000余平方メートル、延べ床面積は4万5300余平方メートルである。

玄関ホールは4階、各種練習室は7階からなっており、観覧ホールでは歌劇、演劇、総合公演はもとより各種のイベントを行うこともできる。観覧席は1500余席である。

劇場では、万寿台芸術団が創作・公演活動を行っている。

国立演劇劇場

平壌市中区域に位置している国立演劇劇場は、2010年に改築された。

劇場は外観上、大鳥の羽ばたきを思わせるような軽快な屋根を持っており、優雅にして壮大、精緻でバランスのよい趣を漂わせている。

620余席の観覧席を有する劇場の内部は、音響の細部にいたるまで公演と観覧にいささかの不便もないように作られている。それに、メーキャップ室とレッスン室、便益サービス施設など芸能人の創作と公演に必要な一切の条件が十分に整っている。

人民劇場

延べ床面積5万余平方メートル、建て坪1万余平方メートルの人民劇場は、1500席の円形生音声ホールと500席の地下ホール、最新式の舞台設備とレッスン室、メーキャップ室、地下駐車場、その他便益サービス施設などを備えており、舞台芸術の創作、公演、観覧に必要な諸条件が十分に整っている。

円形生音声ホールは通常の劇場形式とは異なり、観客が舞台の前だけでなく、いろいろと違った方向から公演の観覧ができるよう観覧席が配置されており、舞台の

上側には複数のLED顕示板が設けられて、俳優と観客の心の触れ合いがより自然な形でなされるようになっている。人民劇場では朝鮮の貫禄のある諸芸術団の公演がしばしば行われている。

平壌サーカス劇場

1989年5月1日、光復通りにユニークな形式で建設された平壌サーカス劇場の延べ床面積は5万4000平方メートルである。

ステージと観覧ホールは大きな正6角形の建築物を形成して建物の中心に配置し、その左右に同じ正6角形の玄関ホールを建てている。劇場のステージは、一般サーカスと水中サーカス、氷上サーカス、動物サーカスができるように転換装置が設けられている。

劇場には、メーキャップ室、大小のレッスン場、氷上及び水中レッスン場、予備レッスン場などさまざまの機能を持つ部屋がある。

劇場では、国際的に広く知られた国立サーカス団が毎年、新しい作品を創作して舞台にのせている。

平壌サーカス劇場の奇術劇場では面白い奇術公演が行われている。

人民文化宮殿

平壌の普通江畔に朝鮮式建築様式で建設された人民文化宮殿は、1974年1月に竣工した。

金日成主席は、この宮殿の建設を発起して自ら敷地を定め、建物の名称を「人民文化宮殿」と名づけた。

宮殿の敷地面積は9万余平方メートル、延べ床面積は6万余平方メートルである。

この宮殿は、地上4階と地下1階の3つの大きな建物からなっており、ここには500余にのぼる大小の部屋がある。

中心部のA棟には約700席の会議室と面談室がある。南側のB棟には、3000席の会議室と集会の準備に用いる部屋がある。北側のC棟には、大宴会場をはじめ複数大小の宴会場、映画館などがある。

宮殿では、芸術公演と国際及び国内のさまざまなイベントが催されている。

4・25文化会館

1975年10月に完工した4・25文化会館は、琵琶通りの入り口と普通江の間の広くて小高い場所に位置している。

会館の総敷地面積は12万4000余平方メートル、延べ床面積は8万余平方メートルである。

会館には6000席劇場、1100席劇場、600席映画館がある。

4・25文化会館の建築様式は、重みと壮大さがありながらも明るい様相を呈している。

4・25文化会館では、朝鮮労働党第6回大会と第7回大会、第8回大会をはじめとする多くの重要な会議やイベント、芸術公演などが行われた。

大同門映画館

もともと中央映画館と呼ばれていたこの映画館は、金日成主席が1955年12月29日、現地で指導しながら「大同門映画館」と命名した。

2008年に近代的に改築された映画館の建築面積は2740余平方メートルである。前面3階、裏面1階となっている映画館の観覧ホールは2つであり、観覧席は1000余席である。

映画館は、映画の上映のほか、写真展示会、美術作品展示会、図書展覧会なども開催している。

4・25文化会館

大同門映画館

文化休息施設

不夜城さながらの凱旋青年公園遊戯場、朗らかな笑い声の絶えない中央動物園、大同江の真ん中にある綾羅人民遊園地、大同江畔につくられた紋繡遊泳場などなど、人民の喜びの満ち溢れる文化・情操生活拠点は市内の随所に見られる。

憩いの場にふさわしく自然風致的効果が現れるように建てられた平壌の文化休息施設は、美しい平壌の自然風致と首都の建築形成にマッチしながらも特色あるように建てられた。

凱旋青年公園遊戯場

万景台遊戯場

万景台遊戯場は、平壌市万景台区域に位置している。

万景台遊戯場の遊戯施設は、カルメジが原と松山が原の2つの地区に配され、遊覧ロープウェーが両地区を結んでいる。

遊戯場には、メリーゴーラウンド、大観覧車、マッドマウス、ジェットコースター、アストロファイターをはじめ数十種の遊戯施設と電子娯楽機器、ボート場、アーチェリー場、動物舎もある。

遊戯場の処々に、お客の便宜をはかるサービス施設が十分に整っている。

大城山遊戯場

1977年に竣工した大城山遊戯場は、大城山遊園地内にある総合遊戯場である。

10余万平方メートルの面積を占めている遊戯場には、ジェットコースター、宇宙飛行船、大観覧車、メリーゴーラウンド、マッドマウス、ウォーターシュート、電気自動車など10余の遊戯施設がある。

また、清涼飲料売り場や飲食店など大小のサービス施設も整っている。

遊戯場では首都の勤労者だけでなく、全国各地の子どもや勤労者、外国人観光客も憩いのひとときを存分に楽しんでいる。

凱旋青年公園遊戯場

平壌の景勝牡丹峰の麓に、際立って異彩を放つ遊戯場がある。

凱旋青年公園遊戯場には、天を突かんばかりに高々とそそり立つ急降下タワー、見る人たちまではらはらさせるスーパーチェア、自由落下しているのではないかとスリルを感じさせる3重回転盤など数多くの遊戯施設が備わっている。

電子娯楽館には、クレー射撃、自動車及びオートバイレースなど10数種の電子娯楽設備があり、連日大勢の青少年たちで賑わっている。

遊戯場内にはパン屋とミルサム(水に溶いた小麦粉の薄焼きに種々の具を包んだ料理)売り場もある。 凱旋青年公園のイルミネーションは、平壌の夜空を美しく飾っている。

綾羅人民遊園地

綾羅島は平壌市を貫流する大同江上にある島である。

面積約1.3平方キロメートル、周6キロメートル、長さ2.7キロメートル、最大幅0.5キロメートルほどで、北東―南西方向に長く伸びている。

島の西側の対岸には大同江を見下ろしながら平壌の名勝牡丹峰が走り、東側の岸の向こうには高層住宅が群れをなして広がる紋繍通りがある。

古くからこの中州は、大同江の流れに枝を垂らしているしだれ柳の映し出された様子があたかも明るく澄んだ水上に美しい絹布を広げているかのような趣だとして、その名を綾羅島と呼ぶようになった。

1980年代の末には、ここに15万の観覧席を持つメーデー・スタジアムと、大同江の両岸に渡された綾羅橋が完成され、2012年には綾羅遊泳場、綾羅遊戯場が立派に建設された。

綾羅遊泳場には、壁と床を青色のタイルで仕上げて人々

にさわやかな感じを与えるプールがあり、そこに白色のタイルを張ったＶ字型の飛込み台が設けられている。

遊泳場には高さ17.2メートルのウォータースライダーがあり、4通りの水路のうち最長のものは127メートルである。

また、水浴び場、砂場、バレーボールコート、バスケットボールコート、ビーチバレーコートなどがある。

人々に喜びと楽しみを与える遊戯場は2つの区域からなっている。

各種の遊戯・娯楽施設とサービス施設を備えた綾羅遊戯場には、電子娯楽館と、綾羅島の自然環境にふさわしくつくられたミニゴルフ場もあって、勤労者の楽しい憩いの場となっている。

島の日中の風致も素晴らしいが、夜はあかあかと輝く遊戯場のイルミネーションに照らされて、あたかも島全体が踊っているかのように見える。

中央動物園

平壌の大城山の麓に広大な中央動物園がある。

総面積が100ヘクタールを越えるこの動物園には、キンパラのような小鳥や魚類から熊、犀、象のような大型の動物に至るまで、世界5大陸の数々の珍しい動物が飼われている。

1959年4月にオープンした中央動物園は、2016年に立派に改築された。

中央動物園は数十年間、人民に笑いと喜びを抱かせる楽しい憩いの場、動物についての幅広い知識を提供する教育の場となってきた。

虎の頭をかたどったユニークな造りの正門と本館、モザイク形式の装飾を施した水族館、頭をぐいと上げた亀をかたどった爬虫類館、半球形に近い、草色ガラス張りの鳥類館、サーカス劇場よりはるかに大きな鳥籠式の鳴禽舎と猛禽舎、トラ舎、 ゾウ舎、キリン舎、ペンギン館をはじめ数十の

動物館や動物舎からなっている。

猿の野外遊び場では、おじいさん猿や母親猿、それに子猿たちが一つの家族でもあるかのように楽しく遊びたわむれている。

動物舎は外観だけでなく、内部もそれぞれの動物の元来の環境に似せて整えられている。

水族館には、遠くの海から引かれたパイプを通して海水が流れ込むので、海水不足という不便は一切生じていない。爬虫類館の内部は日中の外のように明るく、それに温室効果を利用していろいろな植物が植えられている。

動物園内には小型の円形劇場さながらの動物芸の見せ場、オットセイの遊び場もあり、他にも見物人のための休息場がところどころに設けられている。動物園内の建物はどれもがユニークな形態をなして見物人たちに深い印象を与えている。

紋繡遊泳場

2013年10月に完工した紋繡遊泳場は、平壌の紋繡地区に位置している。

建坪が11万平方メートルの紋繡遊泳場は、屋外遊泳場、屋内遊泳場、屋内体育館からなっている。

日光の入る室内遊泳場は2階建てになっているが、1階には母子用プールや児童用プール、波浪プールなど各種の遊泳プールとサウナやシャワー場などがあり、2階には給食その他の便益サービス施設がある。

屋外遊泳場には、各種のウォータースライダーと10余のプールがあり、人造の滝や築山、洞窟などもある。

遊泳場内の体育館には、バレーボールコート、バスケットボールコート、バドミントンコート、運動機材室があり、体力鍛錬用の弾力ネットやクライミングウォールもある。

その他、記念品店をはじめとする各種のサービス施設が設けられている。

季節にこだわることなく海水浴をするかのような楽しみと独特な喜びを味わうことのできる紋繡遊泳場は、いつも人々で賑わっている。

美林乗馬クラブ

平壌市郊外の広い平地に作られた美林乗馬クラブは、2013年に落成した総合的な大衆乗馬サービス施設である。

屋外の馬場は長さが約2000メートルの土砂走路と芝走路からなっている。

基本走路の中間に広がる平地には、大型の築山と人造の池や滝、散歩道がある。

テント造りの休息場内にしつらえたテーブル、椅子その他のものはいずれも、民族的色彩が濃く、香りのよい松やにの匂いが漂う木材で作られていて、ここで休んでいると、

あたかも松林の中でくつろいでいるかのようなさわやかな気分にひたれるのである。美林乗馬クラブには、乗馬のサービスを提供するための数十の建物が建っている。

丸木模様で外壁を装飾した乗馬知識普及所では、乗馬の愛好者たちに馬の習性やその扱い方、乗馬運動の世界的な趨勢などについての広い知識を与えている。

疲労回復院には、さまざまの運動機材を備えた運動室と按摩室、特色のある浴場がある。

美林乗馬クラブにはレントゲン室、超音波室、手術室、一般治療室、病室など馬の病気の治療及び蘇生に必要な条件が十分に整っている獣医病院と種畜研究所がある。

美林乗馬クラブには大勢の愛好者がやって来て乗馬を楽しんでおり、騎馬レースもしばしば行われている。

清流人民屋外スケートリンク

清流院と隣り合った所にそれと同じ形式の屋根を持つ清流人民屋外スケートリンクがある。

延べ床面積6469平方メートルの屋外スケートリンクには、1800平方メートルのスケート場とスケート貸し出し所、選手の待合室兼休憩室、医務室などがある。

清流人民屋外スケートリンクの隣にユニークな造りのローラースケートリンクもある。

敷地面積1万3300余平方メートルのローラースケートリンクは、日に2000余名を受け入れることができる。基本走路は楕円形で、周は225.6メートル、幅は10メートルである。

投光照明装置が取り付けられているローラースケートリンクは夜間も運営でき、ここにはスケート貸し出し所、男女別更衣室、清涼飲料売り場などのサービス施設が備わっている。

いろんな形の構造物が適当に配されている環状のローラースケート技巧場もある。

商業サービス施設

平壌には、数多くの商業サービス施設が人民の生活に便利なように配されていて、消費財に対する市民の需要を満たし、文化的な生活条件を整えて人民の生活を豊かにするのに寄与している。

子どものための平壌児童百貨店と新たに改築された大聖百貨店、玉流館など平壌の商業サービス施設は、行き届いたサービスによって人々から好評を博している。

大聖百貨店

平壌第1百貨店

平壌の勝利通りに建てられた平壌第1百貨店は、1982年4月にオープンした。

百貨店は、延べ床面積がほぼ4万平方メートルで、地階と地上9階からなっている。

建築構成において、基本建物を6階にし、金日成広場の方にタワー模様の7、8、9階を形成して周辺建物とよくマッチするようにした平壌第1百貨店は、首都中心部の建築構成でも大きな意義を持つ建築物となっている。

平壌第1百貨店は、平壌で長い歴史を誇るデパートとして首都の市民がよく訪ねる所である。

百貨店の1階ではいろいろな食品と化粧品、生活用品を、2階では日用雑貨と学用品を、3階では工業製品を、4階と5階では楽器類と玩具、手工業製品を販売している。8階と9階には食堂と清涼飲料店がある。

最近このデパートでは、毎年季節ごとの商品展示会が人々の関心の中に催されている。

光復地区商業センター

1990年にオープンした光復地区商業センター(当時は光復百貨店)は、光復通りの入り口に位置している。

延べ床面積が3万2500平方メートルである光復地区商業センターは、2011年に多機能化された商業サービス拠点として改築された。

光復地区商業センターは、各種の商業サービス施設を総合的に整えている。

1、2、3階では、家具類と食品、生活必需品と化粧品、衣類、金属工芸品と医薬品、家電製品など国内外の名商品を販売している。

3階にはビュッフェ食堂があり、美味の平壌冷麺やビールなどいろいろな飲料を供して人々を満足させている。

大聖百貨店

2019年にオープンした大聖百貨店は、平壌市大同江区域に位置している。

発展する時代の美感に即して改修・増築された大聖百貨店は、商業・便益・給食サービスを行う多機能化された商業施設である。

この百貨店では良質の各種の食品や衣類、履物、家庭用品、日用雑貨、学用品、文化用品を販売している。

商品の陳列方法と形式が多様であり、サービス環境や規模、商品の質と品目においても遜色のない大聖百貨店は購買者の便宜を最上の水準ではかっている。

平壌児童百貨店

1961年11月にオープンした平壌児童百貨店は、倉田通りの大同江の岸の方を際立たせる建物として2012年に新築され、地下2階、地上3階からなっている。

この百貨店で販売されている商品のほとんどは、国内の工場、企業で生産されたものである。

百貨店の地上各階には店内遊戯場があり、そこには子どもの知能を啓発する玩具や2000余点の店内遊戯器材が具備されている。

玉流館

1960年8月に建てられた玉流館は、大同江の清い玉のような水の流れが裾を洗う玉流壁の上に、周辺の風致と調和して建設された朝鮮式建築である。

対岸から見ると、あたかも1隻の美しい遊覧船が大同江をさかのぼるような一風変わった感興にひたれる。

玉流館は新世紀に入って、わが国における民族料理の原種場にふさわしく改築・近代化された。玉流館では、平壌冷麺、肉盛りチェンバン(盆)冷麺、チェンバン冷麺、その他各種の民族料理を朝鮮人民と外国の客に供している。

今日玉流館は、平壌冷麺によって国内外に広く知られている。

清流館

平壌の普通江畔に位置している清流館は、1982年4月にオープンした。

延べ床面積1万余平方メートルの清流館は、室内座席と屋外座席を持つ建築物として、ユニークな建築様式に優雅な造形美を誇っている。

地階と地上4階からなる建物内には、大小の食事室がある。1階には大衆食事室と個別食事室がある。

2階には、神仙炉料理を専門とする食事室と家族食事室、大衆食事室がある。

清流館では、平壌冷麺と肉盛りチェンバン冷麺、パン、緑豆チジム、ボラ汁、神仙炉、魚鍋物をはじめさまざまな朝鮮料理を作って供している。

食堂船「大同江」号

排水量820トンの食堂船「大同江」号は、一度に300名を収容できる多くの食事室や宴会場を備えている。

2階からなる船の各階に別々に調理場があり、エレベーターも設けられている。

ここでは有名な平壌冷麺をはじめ、各種の料理やパン類、清涼飲料を供している。

食堂船「大同江」号に乗って大同江の真ん中でサービスを受ける喜びは格別なものである。

総合サービス船「ムジゲ」号

2015年10月に開業した総合サービス船「ムジゲ(虹)」号は、延べ床面積が1万余平方メートル、長さ120メートル、幅25メートル、排水量3500トンで、一度に1230名余りの客を収容することができる。

4階からなる船には商店、清涼飲料室、民族料理店、会食室、宴会場、ベルト・バイキング食堂があり、露天甲板食堂や回転展望食堂もある。

7色の虹に彩られたかのような船の内外装も素晴らしいが、数百種の料理や行き届いたサービスはお客を大いに楽しませている。

平壌大同江水産物食堂

2018年6月、風光明媚な大同江畔に特色のある給食サービス拠点として建てられた平壌大同江水産物食堂は、建物の内外部の全ての要素が独特で精巧であり、美しく施工されている。

食堂には各種の淡水魚やかん水魚の屋内生簀と、人々の味覚や好みに合い生きの良いさまざまな高級魚類を即席に料理して出す多様な形式の大衆食事室や家族食事室、民族料理食事室がある。

また、いろいろな水産物を加工して販売する加工品売り場もある。

食堂ではチョウザメや龍井魚、サケ、ニジマスなどの高級魚類で作った料理と世界各国の料理も供している。

平壌高麗ホテル

1985年から営業を開始した平壌高麗ホテルは、平壌の中心部に位置している。

140メートルのツインタワー式のホテルは、躍動する都市の様相と理想的な調和をなしている。

伝統的な民族文化と現代文化を結合したホテルの内部は、高尚かつ優雅な朝鮮式近代建築の風味をよく表している。

1階の中央ホールの床と前壁面には、朝鮮民族を象徴する白虎が形象化されている。これは、朝鮮民族史に強国として記されている高句麗の気概を感じさせる。

ホテルの1階ホール

ホテルの客室

ホテルには、20余の高級ルームを含む500余の客室がある。

各ルームは、優雅で重みがありながらも落ち着いていて、お客に安定感と親近感を与える。

ホテルの各宴会場と食堂では、朝鮮民族料理と世界各国の名料理を専門としている。また、平壌市の麗しい景色を俯瞰できる回転展望食堂は、人々に格別の情緒を与える。

回転展望食堂

民族食堂

羊角島国際ホテル

羊角島国際ホテルは風致秀麗な大同江上の羊角島に位置している。

1000余の客室と回転展望食堂をはじめ宴会場と食堂、娯楽場、ゴルフ場や便益施設がある。

多様に整えられたいろいろな等級の客室は、お客に落ち着きと親近感を与える。

青年ホテル

1989年5月1日竣工した青年ホテルは、光復通りに位置している。

敷地面積6万平方メートル、延べ床面積4万平方メートルで、収容能力は900余席であり、中央玄関ホールと寝室の部分からなっている。

青年ホテルは、建物が幅に比べてはるかに高いのを考慮して、両側に曲面体を立て、基本建物と高低の

サービス建物を束ねることにより、安定感を与え、形成上の多様性を保障している。

中央玄関ホールでは、談話、休息、受付などができる。5階から30階までは客室である。

等級別客室の平面は随意に変更できるので、経営上有利な点がある。

西山ホテル

1989年5月に開業した西山ホテルの延べ床面積は5万4000余平方メートルで、青春通りのスポーツ村に位置している。

三角形の構造をなしているホテルの外観は、独特性と壮快感を表している。

30階建ての西山ホテルには、客室、食堂、面談室、

映画館と遊泳場、美容室、理髪室などの総合サービス施設がある。

収容能力は1100余名で、客室は1、2、3等室となっている。ホテルの周辺には釣り場と平壌ゴルフ練習場があって、ホテルを訪れる客の便益をはかっている。

両江ホテル

大同江と普通江の合流地点の山の上に位置している両江ホテルは、青春通りに面しており、近くに西山ホテルがある。

1989年5月に開業した両江ホテルの延べ床面積は3万3000余平方メートルで、330余の客室をはじめ食堂とサービス施設からなっている。

ホテルは、建築構成上なだらかな曲線美と直線美をよく組み合わせながら段々式に形成され、地形条件にマッチするように特色を生かして建設された。

4つの建物からなるホテルには、客室のある建物、食堂と会館のある建物などがある。

建物の最上階には、90余席の回転展望食堂がある。ここでは、美しい万景峰と光復通り、青春通りなど平壌市の全景を俯瞰することができる。

市街

広くて明るいうえ、人々の生活上の便宜をはかって文化的に建てられた市街により、平壌は都市としての様相が一層美しくなっている。また、市内の各地域を連結し、平壌ならではの特徴を持っている。

前衛通り

未来科学者通り

2015年10月に完工した未来科学者通りには、数千世帯分の高層アパートと東式住宅が風光明媚な大同江畔の道路に沿い互いに見事な調和をなして並び立っている。

まっすぐに伸びたすがすがしい街路を見下ろしながら競い立つ高層アパート群や公共建築、各種の便益サービス施設、憩いの場やスポーツ・運動公園など全ての施設が調和をなしている。

未来科学者通りのシンボル建築である53階建ての高層アパートは、螺旋状の電子トラックをかたどっており、屋上には宇宙を象徴するタワーが設けられている。

全ての建物は科学者通りを象徴できるようにユニークなものに建てられた。

黎明通り

錦繍山太陽宮殿地区に位置している黎明通りは、2017年4月に竣工した。

強国の黎明を呼び寄せるという意味で黎明通りと名づけられたこの市街は、数十ヘクタールの広い敷地に70階建て、55階建てのマンションをはじめとする高層・多層住宅と公共建築からなっている。

ゼロエネルギー、グリーン建築技術を取り入れて全ての公共建築と住宅で太陽光や地熱を効果的に利用し、屋根・壁面の緑化技術が導入されて省エネ型通り、グリーン型通りとしての様相を見栄えよく整えている。

松花通り

2022年4月に完工した松花通りは、平壌市5万世帯住宅建設計画に従って平壌の東の関門に建設された市街である。

数十ヘクタールの敷地面積に建設された松花通りは、百数十万平方メートルの延べ床面積を持つ百数十棟の高層アパートと公共建築、サービス施設と広々と伸びた大道路からなっている。

80階建てのマンションをはじめとする1万世帯分の多様な高層住宅が建築群をなしており、特色のある高架橋と装飾構造物が調和をなし、建築物の造形化と芸術化、連結性と実用性が高い水準で保障された松花通りは、日増しに変貌する平壌の発展ぶりを示している。

普通江川岸段々式住宅区

首都中心部の普通江畔に高級住宅区である普通江川岸段々式住宅区が建てられて、新しい景観をなした。

元来ここは、金日成主席の自宅があった所である。

平壌市5万世帯住宅建設とは別途に、2022年4月に建設されたこの住宅区には、社会と人民のために功績を立てて人民から愛され尊敬される平凡な労働者とインテリをはじめとする勤労者が入居している。

美しい宝の楼閣という意味で「瓊楼洞」と名づけられたこの住宅区は、低層及び多層住宅が多様に組み合わされているばかりでなく、一つの建築群としての面貌を生かして建物と自然が一つに調和し、生活空間と生態空間が最大限の便宜と衛生文化的環境を保障できるように独特に構成されている。

和盛通り

2023年4月に完工した和盛通りは、錦繡山太陽宮殿の近くにある。

平壌市5万世帯住宅建設の第2段階として建設された和盛通りは、松花通りの敷地面積の3倍に及ぶ百数十ヘクタールの敷地に、百数十万平方メートルの延べ床面積を持つ1万余世帯の多様な住宅群が調和よく配されている。

新しい市街の規模に合わせて広々と伸びた大道路のイルミネーションや、便利なように配された公共建築とサービス網、各種施設、その間に造成された園林景観によって、和盛通りは壮観を呈している。

林興通り

2024年4月に竣工した林興通りは、和盛地区の第2段階区域に位置している。

平壌市5万世帯住宅建設の和盛地区第2段階1万世帯住宅建設に含まれる林興通りは、80ヘクタール余の敷地に1万世帯分に及ぶさまざまな形式の住宅が公共及びサービス建物、施設とバランスを取って便利に配されている。

主体性と民族性、現代性と芸術性がはっきり具現された林興通りの住宅は、和盛通りの住宅と様相が区別されるように反復を避けながら朝鮮式の固有な味わいと特色を生かし、重みがあるように建設された。

2024年4月16日、和盛地区第2段階1万世帯住宅の竣工式と竣工を記念する公演が盛大に行われて、新しい住宅に入居する人々の喜びを倍加させた。

前衛通り

2024年5月に竣工した前衛通りは、平壌の北の関門である西浦地区に位置している。

80階建てのマンションをはじめとする多様な形式の高層・超高層住宅と公共建築で壮観をなしている。

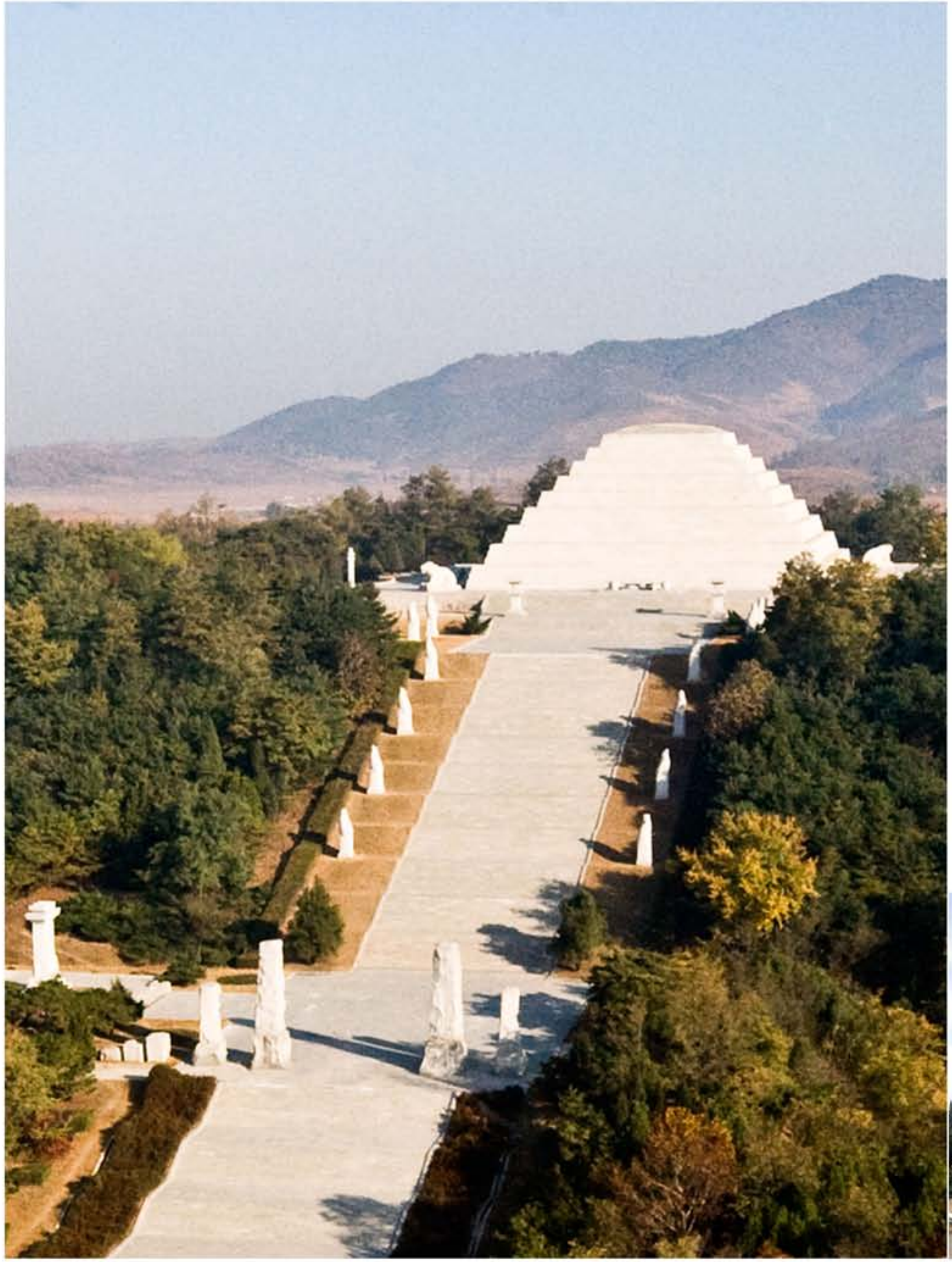
数千世帯の高層・超高層住宅とサービス建物を青年たちの力だけでわずか1年の間に建てた偉勲を長く伝えるために、「前衛通り」と名づけられた。

歴史遺跡

　5000余年の悠久の歴史を誇る平壌には、わが国の歴史を振り返らせる歴史遺跡が少なくなかった。しかし、数回にわたる外部勢力の侵入と祖国解放戦争時期に多くの歴史遺跡が破壊及び焼失された。

　今日、わが党と国家の文化遺跡保存政策によって多くの歴史遺跡が原状通りに復旧された。

東明王陵の定陵寺の8角7重塔



檀君陵

平壌市江東郡文興里の大朴山麓の丘陵の上に位置している。

檀君は、朝鮮最初の国家古朝鮮を打ち建てた朝鮮民族の始祖である。

1993年2月、江東郡にある陵から遺骨と遺物が発掘されることにより、神話的存在として知られていた檀君が実在の人物であったことと、わが国は5000年の悠久の歴史を持つ古い歴史国であることが科学的に解明された。

檀君陵の総敷地面積は45ヘクタールであり、檀君陵改造記念碑区域と石人像区域、中心区域に大別される。

檀君陵改造記念碑区域には、檀君陵改造記念碑と檀君陵修築碑、陵の門柱が含まれる。石人像区域は、檀君の4人の子と重臣たちをかたどった彫像が配された区域で、石段の左右に展開されている。

玄室の底には2つの棺台が南北方向に並んでおり、その上には檀君と王妃の遺骨を納めた棺がそれぞれ置かれている。玄室正面には檀君の肖像画が掛かっている。

東明王陵

平壌市力浦区域龍山里にある高句麗の始祖東明王(B.C.298～B.C.259)の墓である。

東明王陵のある丘陵地帯は約40ヘクタールの松林からなっている。この松林は数百年前から存在しており、東明王陵の風致を際立たせるべく人工的に造成したものだと言われている。

この松林を含む約170ヘクタールの敷地が東明王陵区域である。

1993年5月に改造された東明王陵は、高句麗始祖王の墓にふさわしく、千年強国の高句麗の威容を誇示するかのように雄壮な趣を呈している。

練光亭

平壌市中区域大同門洞にある亭で、高句麗時代の6世紀の中頃に建てられたが、その後数回改築されている。

1111年、高麗時代に平壌城を補修して「西京」と呼びながらその位置に再び亭を建てて「山水亭」と名づけた。朝鮮封建王朝時代の1670年に改築し、その名前を「練光亭」と呼び直した。

練光亭は風致がすぐれていて古くから「第一楼台」「万和楼」などとも呼ばれていた。

練光亭には「天下第一江山」と書かれた扁額と、高麗時代の詩人金黄元が作った詩句が書かれた額が掛かっている。

練光亭は、祖国解放戦争の時期アメリカ帝国主義の爆撃によってはなはだしい被害を受けたが、戦後にすぐ復旧されて、現在は国宝としてよく保存されており、人民の楽しい憩いの場となっている。

扁額「天下第一江山」

丹青模様

大同門

平壌市中区域の大同江畔にある歴史遺跡で、6世紀の中頃、平壌城内城の東門として建てられた高さ19メートルの城門である。

現在の大同門は1635年に改築されたもので、去る祖国解放戦争の際、米空軍の爆撃によって大破したが、戦後直ちに復旧された。

大同門は、現代的な大都市として雄壮な姿を見せている首都平壌の古い歴史を誇り、平壌鐘閣、練光亭と調和をなしてここを訪れる勤労者たちの憩いの場となっている。

普通門

平壌市中区域普通門洞に建つ平壌城中城の西門である。

普通門は6世紀の中頃、高句麗が国都城—平壌城を築く際に建てられ、その後数回にわたって修築された。

普通門は、平壌城の西北方に通じる門であり、戦略的位置の重要性のゆえに、高句麗時代はもとより高麗時代と朝鮮封建王朝時代にも特に重要視された。

広法寺

平壌市大城区域大城洞に位置している広法寺は、高句麗時代の寺院である。

高句麗広開土王(374年～412年)の時期に平壌地方には多くの寺院が建設されたが、広法寺もその中の一つである。

広法寺は1727年に改築され、去る祖国解放戦争時期である1952年7月にアメリカ帝国主義の空爆によって全壊したが、1990年に原状通りに復旧された。

広法寺は、解脱門、天王門、大雄殿、東・西僧堂、8角5重の塔などからなっている。

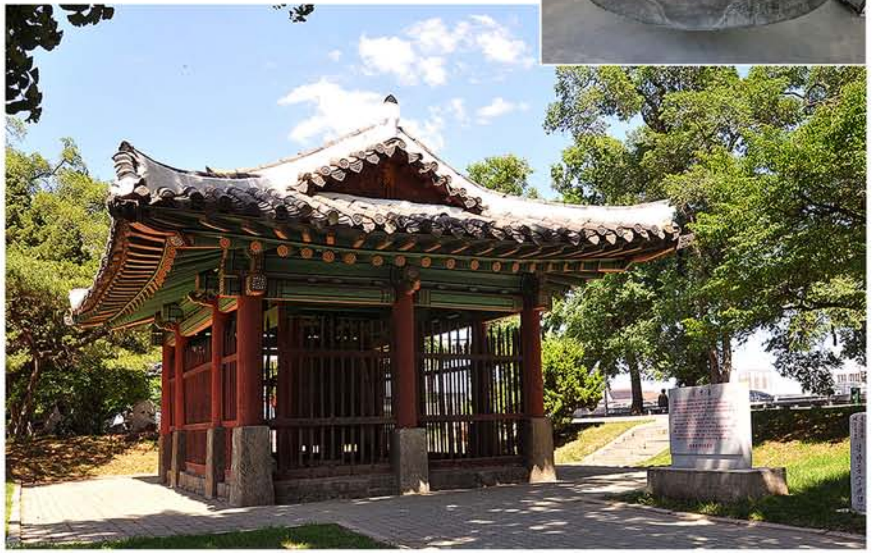
広法寺には、昔からある蓮池と1727年に建てた広法寺碑などが残っている。

平壌鐘

平壌市中区域大同門洞の鐘閣にある平壌鐘は、1726年6月から9月にかけて浮碧楼西側の庭で鋳造したものである。

鐘の重さは約13トン、高さは3.1メートル、口径は1.6メートルである。

平壌鐘は、朝鮮封建王朝時代における指折りの鐘の一つとされ、形態が美しく、音の荘重なことで「平壌名物」として知られてきた。



平　壌

執　筆：張光賢、鄭香順
編　集：尹英日、安秀英
写　真：李光成、崔元哲、李哲進、黄正赫
孫希軟、金赫哲、金成鉄、朴光勲
劉光赫、李英哲
翻　訳：金光哲、金進革
発　行：朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
発行日：2024年12月

ㄱ-240880173983

E-mail: flph@star-co.net.kp
http://www.korean-books.com.kp

朝鲜民主主義人民共和国

外国文出版社

2024

ISBN 978-9946-0-2307-6